

## 平成19年度 防災貢献団体表彰一覧表

番号	所管	市町村	団体名	設置年度	該当基準	項目	主な表彰対象活動内容
1	西三河事務所	安城市	榎前町自主防災会	平成11年度	2条の1(1)イ	防災訓練の活性化と啓発活動	地域防災力の向上のため、数多くの啓発活動、防災訓練を実施している。平成18年度の防災訓練・啓発活動等の回数は15回であった。
2	知多事務所	大府市	横根山自主防災会	平成19年度	2条の1(2)	その他(市町村長が表彰に値すると認めた自主防災組織)	全国でも珍しい市民、NPO、行政、大学が一体となった防災運動会を実施して、地域のコミュニティの活性化と防災力の向上に寄与した。事業の実施を通して、地域住民が一体となり、地域防災力向上の必要性を再認識することで、自主防災会の立ち上げの原動力となった。
3	西三河事務所	知立市	牛田町自主防災会	平成8年度	2条の1(1)イ	防災訓練の活性化と啓発活動	「みんなの防災ネットワーク構築モデル事業」モデル地区指定を契機として、「知立市地域防災ネットワーク推進会議」を設置して地域防災訓練の活性化に取り組む。 住民450人が参加する防災訓練を実施した。
4	西三河事務所	幸田町	坂崎区自主防災会	昭和56年度	2条の1(1)ア	永年活動及び台帳の整備	地域防災力の向上のため、永年にわたり、防災訓練を実施している。昭和57年度、昭和60年度は河川決壊時に資機材を提供し応急活動を実施した。
5	尾張事務所	小牧市	日本特殊陶業株式会社	昭和11年度	2条の2(2)	その他(市町村長が表彰に値すると認めた企業等)	平成11年に小牧市消防協力隊の地域応援に関する協定を締結した。平成19年3月に小牧市へ起震車を寄贈した。
6	知多事務所	半田市	半田災害支援ボランティアコーディネーターの会	平成12年度	2条の2(1)(ア)及び(ウ)	普及啓発事業の取組	平成13年に半田市総合防災訓練に参加し、地域ボランティア支援本部立ち上げ訓練を行い、以降現在まで継続している。 防災啓蒙情報誌「たんぽぽ便り」の発行や地元の学校などで防災に関する啓発を継続している。

## 平成20年度 防災貢献団体表彰一覧表

番号	市町村	団体名	設置年度	該当基準	項目	主な表彰対象活動内容
1	豊橋市	弥生町防災会	S53年度	2条の1 (1)(イ)	防災訓練の活性化	病院と協力した訓練、大工さん等による家具転倒防止勉強会など、防災訓練を独自に企画立案しており、また防災資器材を備蓄するなど自らの町を自ら守る体制が確立している。月2回定例活動を行っている。
2	瀬戸市	萩山台連合自治協議会	S50年度	2条の1 (1)(イ)	防災訓練の活性化	自治会役員の中に「はぎやまフェスタ」実行委員を設け、毎年開催している。フェスタの中で初期消火訓練コーナーを設けたり、救出・救護訓練を行い、祭りの賑わいの中で防災にも関心が向けられるよう工夫している。
3	半田市	岩滑区自主防災会	S40年度	2条の1 (1)(ア)	永年活動及び台帳の整理	住民台帳と併せて防災台帳が整備され、自主防災会への協力、災害時に活用できる資格技能、災害時要援護希望の有無を記入するなど、他の模範と認められる。
4	安城市	横山村自主防災会	H8年度	2条の1 (1)(イ)	防災訓練の活性化	自主防災・防犯・福祉委員会・消防団などと連携しながら、宿泊を伴う避難所体験訓練や町中を舞台とした発災対応型の訓練を行うなど、特色的ある訓練を毎年開催している。
5	幸田町	六栗区防災会	S55年度	2条の1 (1)(ア)	永年活動及び台帳の整理	自主防災会設置後、活動を28年以上継続しており、六栗区防災会規約、防災計画、六栗区防災会組織表、六栗区防災会資機材台帳が整備され、他の模範と認められる。
6	名古屋市	社団法人 名古屋建設業協会	S51年度	2条の2 (1)(ア)	内部防災組織の整備	平成7年 名古屋市との間に「災害時における応急対策業務に関する提携」を、平成19年「災害ボランティア活動用資器材の管理に関する協定」を締結するなど、地域防災力向上への功績が顕著である。

## 平成21年度防災貢献団体表彰一覧

NO.	所管県民事務所	市町村	団体名	設立年度	主な該当基準	項目	表彰対象活動等
1	尾張県民事務所	瀬戸市	瀬戸防火防災協会連合会	S44	2条1(1)の(ア)	永年活動及び台帳の整備	【台帳】①連合会会則②決算書・予算書③事業実施報告書・計画書④名簿⑤防火防災委員委嘱状⑥自主防災リーダー委嘱状⑦功労者表彰対象者一覧⑧レジュメ⑨街頭消火器配置図
2	尾張県民事務所	春日井市	学校法人中部大学 中部大学	S13	2条2(1)の(ウ)	防災思想の普及	H18～ 地球ウォッチ・市民センターがセミナー、シンポジウムを実施 H20 春日井市と「災害時における避難所及び広域避難場所指定に関する協定」を締結 H20～ 各種訓練、研修、講演会を実施 H21 中部大学ボランティア・NPOセンターが「ぼうさい甲子園」において大学生の部優秀賞を受賞
3	海部県民センター	津島市	蛭間校区自主防災会	H12	2条1(1)の(イ)	防災訓練の活性化	H14～ 防災訓練実施 H19は市と共に実施
4	西三河県民事務所	安城市	城南町自主防災会	H8	2条1(1)の(イ)	防災訓練の活性化	H16～ 防災訓練実施 H17 防災マップ作成 H21 要援護者対策取組みを実施
5	知多県民センター	東海市	木庭町内会専従自主防災隊(コンバ)	H15	2条1(1)の(イ)	防災訓練の活性化	H16～ 東海市市民総合防災訓練へ参加 H17～ コミュニティ総合防災訓練へ参加 H20 年末特別夜警開始
6	西三河県民事務所	吉良町	宮崎地区自主防災組織	H15	2条1(1)の(イ)	防災訓練の活性化	H15～ 年に複数回消防団、消防組合と連携し防災訓練を実施 H21 「土砂災害全国統一防災訓練」に参加
7	西三河県民事務所	幸田町	大草区自主防災会	S55	2条1(1)の(ア)	永年活動及び台帳の整備	【台帳】①防災会規約②防災計画表③防災会組織表④資機材台帳

## 平成22年度防災貢献団体表彰 表彰団体一覧

NO.	所管県民事務所	市町村	団体名	設立年度	主な該当基準	項目	表彰対象活動等
1	尾張県民事務所	瀬戸市	山口連区自治会	H8	2条1(1)イ 2条1(1)ウ	防災訓練の活性化 防災思想の普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火防災委員・自主防災リーダーを対象とした防災研修会の実施</li> <li>・山口連区における防災訓練の実施</li> <li>・防災マップ(看板)の作成</li> </ul>
2	西三河県民事務所	安城市	高棚町自主防災会	H13	2条1(1)イ	防災訓練の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救出訓練の実施</li> <li>・炊き出し訓練の実施</li> <li>・防災マップの作成</li> <li>・発災型対応防災訓練の実施</li> </ul>
3	西三河県民事務所	幸田町	海谷区防災会	S55	2条1(1)イ 2条1(1)ウ	防災訓練の活性化 防災思想の普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震を想定した防災訓練の実施</li> <li>・土砂災害を想定した避難訓練の実施</li> <li>・土砂災害での犠牲者ゼロを目指した早期避難の啓発</li> </ul>

## 平成23年度防災貢献団体表彰 表彰団体一覧

NO.	所管県民事務所	市町村	団体名	設立年度	主な該当基準	項目	表彰対象活動等
1	西三河県民事務所	安城市	古井町自主防災会	平成12年度	第2条1(1)イ 第2条1(1)ウ	防災訓練の活性化 防災思想の普及	・体験型訓練の実施 ・避難所体験訓練の実施 ・「避難所生活の手引き」の作成
2	知多県民センター	東海市	南ヶ丘町内会自主防災会	平成17年度	第2条1(1)イ 第2条1(1)ウ	防災訓練の活性化 防災思想の普及	・防災力アンケートの実施 ・防災資機材の管理保管状況のチェック ・体験型訓練の実施
3	知多県民センター	大府市	横根自主防災会	昭和57年度	第2条1(1)ア 第2条1(1)イ	永年活動及び台帳の整備 防災訓練の活性化	・防災訓練の充実 ・災害時要援護者マップの作成 ・隣組の編成による地域防災力の向上
4	尾張県民事務所	岩倉市	南新町自主防災会	平成3年度	第2条1(1)ア 第2条1(1)イ	永年活動及び台帳の整備 防災訓練の活性化	・総合防災訓練の実施 ・要援護者台帳の作成 ・防災防犯警報機の設置
5	知多県民センター	武豊町	北山区自主防災会	昭和54年度	第2条1(1)ア 第2条1(1)イ 第2条1(1)ウ	永年活動及び台帳の整備 防災訓練の活性化 防災思想の普及	・防災マップの作成、配布 ・体験型防災訓練や防災講演会の実施 ・資機材の点検や使用訓練 ・防災アンケートの実施
6	西三河県民事務所	幸田町	横落区防災会	昭和56年度	第2条1(1)ア 第2条1(1)イ 第2条1(1)ウ	永年活動及び台帳の整備 防災訓練の活性化 防災思想の普及	・防災倉庫の整備、点検 ・防災マップの作成、配布 ・防災避難訓練の実施

平成24年度防災貢献団体表彰 表彰団体一覧

NO.	市町村	団体名 (所管県民事務所)	設立年度	推薦基準	適否	主な活動内容
1	安城市	安城防災ネット (西三河県民事務所)	平成18年度	第2条2(1)ウ【防災思想の普及】 ・広域にわたる防災思想普及事業を継続し他の模範※	・様々な研修や講座に講師として協力 →基準を満たしている	・安城市の市民企画講座、自主防災リーダー養成研修、公民館が実施する防災の講座に講師として協力。 ・安城市総合防災訓練で家具転倒防止等の啓発活動。 ・ボランティアセンター立ち上げ訓練に協力（平成23年度）。 ・防災教育プランに協力し、中学生防災隊育成事業の実施。 ・安城市民防災フェアにおいて企画・運営に参画。
2	蒲郡市	拾石町自主防災会 (東三河総局)	平成元年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 ・5年以上継続して活動 ・自主的な防災訓練を実施し、住民参加を増やすため積極的に活動	・活動期間23年 ・毎月自主防災活動の訓練実施 →基準を満たしている	・月に1回は自主防災活動の訓練を自発的に計画。 ・蒲郡市自主防災会モデル地区訓練を担当(平成19年度)。 ・特別養護老人ホームの消防訓練に参加(平成23年度)。
3	大府市	石ヶ瀬自主防災会 (知多県民センター)	平成16年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 第2条1(1)ウ【普及啓発事業の取組】 ・5年以上継続して活動 ・防止思想の普及、向上を図るなど優れた活動を継続	・活動期間8年 ・毎年防災訓練を実施 ・ハザードマップの作成、配布 →基準を満たしている	・毎年防災訓練を実施（平成22年度には、市の防災モデル地区として地域総ぐるみ防災訓練の会場となり、住民参加の総合防災訓練を実施）。 ・ワークショップやまち歩き等を実施し、水害手づくりハザードマップ(平成20年度)や手づくり地震防災ハザードマップ(平成24年度)を作成して住民へ配布。 ・平成19年度から要援護者名簿を作成し、毎年民生児童委員など関係者を集めて会議を開催。 ・地区内の災害時要援護者と地域支援者のマッチングを行い、災害時要援護者マップを作成(平成24年度)。
4	知多市	岡田防災会 (知多県民センター)	平成17年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 第2条1(1)ウ【普及啓発事業の取組】	・活動期間7年 ・毎年防災訓練の実施 ・毎年防災講演会の開催 ・防災マップの作成、配布 →基準を満たしている	・毎年、各地区での安否確認訓練や救出救護訓練、避難所運営訓練など実践的な防災訓練を実施。 ・地区住民に対して防災会の説明会を兼ねた防災講演会を年に1回開催。 ・防災マップを作成し、全戸に配布(平成22年度)。 ・年に3回程度各分野別（情報・消火・救出救護・避難誘導・給食給水・警戒）での研修会を開催。
5	日進市	折戸区自主防災会 (尾張県民事務所)	平成16年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】	・活動期間8年 ・毎年防災訓練の実施 →基準を満たしている	・体験参加型の防災訓練を毎年実施。 ・日進市消防団折戸分団と連携し、小型ポンプ操法の実演披露を行う(平成23年度)。 ・災害時要援護者支援会議を開催し、要支援者の名簿等を整備、避難計画などを作成(平成23年度)。
6	武豊町	馬場区自主防災会 (知多県民センター)	昭和54年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 第2条1(1)ウ【普及啓発事業の取組】	・活動期間33年 ・毎年防災訓練の実施 ・毎年防災講演会の実施 →基準を満たしている	・平成17年度から毎年防災訓練、防災講演会を実施。 ・町が整備した防災倉庫とは別に防災倉庫を整備し(平成18年度)、さらに防災倉庫を新設した(平成23年度)。 ・自主防災組織台帳を整備(平成20年度) ・他市町の防災センターへの視察を実施。
7	幸田町	野場区防災会 (西三河県民事務所)	昭和56年度	第2条1(1)ア【永年活動及び台帳の整備】 ・10年以上継続して活動 ・各種台帳を整備し、他の模範 第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 第2条1(1)ウ【普及啓発事業の取組】	・活動期間31年 ・組織表など台帳の整備 ・毎年防災訓練の実施 ・地震避難所マップの作成、配布 →基準を満たしている	・野場区防災会規約、防災計画、野場区防災会組織表、野場区防災会資機材点検表を整備。 ・大規模地震を想定した防災訓練を毎年実施。 ・地震避難所マップを作成し、配布(平成16年度)。 ・消防団との連携を図るために、消防団詰所内に自主防災会資機材管理庫を整備（平成8年度）。 ・防災リーダー育成養成研修に参加(平成21年)。

※「広域にわたる」とは、推薦基準第2条1に規定する自主防災組織の活動範囲である町内会・自治会等の区域を越えて、市町村内において広く活動を行っていること(表彰例：平成19年度表彰の半田災害支援ボランティアコーディネーターの会)。

平成25年度防災貢献団体表彰 表彰団体一覧

NO.	市町村	団体名 (所管県民事務所)	設立年度	推薦基準	適否	主な活動内容
1	豊橋市	岩田校区防災会連絡協議会 (東三河総局)	昭和56年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 ・5年以上継続して活動 ・自主的な防災訓練を実施し、住民参加を増やすため積極的に活動	・活動期間32年 ・毎年防災訓練を実施 →基準を満たしている	・毎年校区の防災訓練を実施。（平成23年度には、校区運動会の中で住民参加型訓練を実施。） ・豊橋市主催の「防災リーダー・自主防災組織指導者活動成果報告会」で事例発表（平成23年） ・平成24年度「豊橋市防災関係表彰」受賞
2	瀬戸市	下品野連区自治会 (尾張県民事務所)	平成4年度	第2条1(1)ア【永年活動及び台帳の整備】 ・10年以上継続して活動 ・各種台帳を整備し、他の模範 第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 第2条1(1)ウ【普及啓発事業の取組】 ・5年以上継続して活動 ・防止思想の普及、向上を図るなど優れた活動を継続	・活動期間21年 ・防災台帳の整備 ・毎年防災訓練を実施 ・地域防災マップの作成 →基準を満たしている	・毎年防災台帳の整備 ・自主防災リーダーが中心となり、地域防災訓練や防災研修会を毎年実施。 ・町内の防災訓練を3回実施し、自主防災リーダーが中心となって住民に訓練指導（平成24年） ・毎月防災を課題とした地域力向上を目指す定例会を開催。 ・地域防災マップを作成（平成24年度）。
3	安城市	北山崎町自主防災会 (西三河県民事務所)	平成10年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】	・活動期間15年 ・毎年防災訓練を実施 →基準を満たしている	・毎年行う防災訓練で、より住民が参加しやすいよう、非常食を食べながら交流を行う組別ミーティング（平成22年度）や防災運動会（平成23年度）、防災クイズ（平成24年度）を組み込むなどの工夫。
4	犬山市	あいち防災リーダー会 犬山 (尾張県民事務所)	平成19年度	第2条2(1)ウ【防災思想の普及】 ・広域にわたる防災思想普及事業を継続し他の模範	・出前講座の実施や市町の防災訓練への参加 →基準を満たしている	・自主防災会へ出向き、出前講座を実施（平成24年度：25回） ・周辺の市町のイベントや総合防災訓練に参加し、啓発活動を実施。
5	犬山市	西楽田団地自主防災会 (尾張県民事務所)	昭和58年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】	・活動期間30年 ・毎年防災訓練を実施 →基準を満たしている	・毎年防災訓練を実施し、その内容も安否確認、煙道体験、救出訓練、救護訓練、初期消火訓練、炊き出し、家具の転倒防止など充実。
6	尾張旭市	尾張旭防災リーダー会 (尾張県民事務所)	平成18年度	第2条2(1)ウ【防災思想の普及】	・市の防災訓練や防災講習会での啓発 →基準を満たしている	・毎年の総合防災訓練の啓発ブースや市主催避難所生活体験訓練にて、家具転倒防止を啓発。 ・毎年、市主催の防災講習会の講師として防災知識の啓発を実施。 ・家具転倒防止の啓発冊子を作成。
7	大治町	明治町自主防災会 (海部県民センター)	平成14年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】	・活動期間11年 ・毎年防災訓練を実施 →基準を満たしている	・毎年、海部東部消防署及び地元消防団の協力により防災訓練を実施。平成24年は住民の参加を促すため、祭りと防災訓練を合わせた「明治町ぼうさい祭」として開催。 ・手作りハザードマップの作成（平成24年11月） ・名古屋市港防災センター（平成24年）、海部東部消防組合消防本部・海部地方消防指令センター（平成25年）視察。
8	武豊町	玉貫西一区自主防災会 (知多県民センター)	昭和54年度	第2条1(1)ア【永年活動及び台帳の整備】 第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 第2条1(1)ウ【普及啓発事業の取組】	・活動期間34年 ・自主防災組織台帳の整備 ・毎年防災訓練を実施 ・保育園・学校の避難訓練・防災学習に参加し啓発 →基準を満たしている	・玉貫西一区・自主防災会世帯台帳を整備（平成21年）。 ・毎年地元消防団と共に防災訓練を実施。 ・防災リーダーである区長が地元保育園・学校の避難訓練・防災学習に参加し再発。 ・玉貫地区防災倉庫の新設（平成24年度）。 ・他市町の防災センターへの視察を実施。
9	幸田町	芦谷区防災会 (西三河県民事務所)	昭和56年度	第2条1(1)ア【永年活動及び台帳の整備】 第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 第2条1(1)ウ【普及啓発事業の取組】	・活動期間32年 ・防災会組織表などの整備 ・毎年防災訓練の実施 ・防災マップの作成、配布 →基準を満たしている	・芦谷区防災会規約、防災計画、芦谷区防災会組織表、芦谷区防災会資機材点検表を整備。 ・大規模地震を想定した防災訓練を毎年実施（平成24年度は、全区民を対象に安否確認訓練の実施）。 ・「防災委員会」を設置し、区防災計画や行動マニュアルを策定（平成20年度）。 ・芦谷区防災マップを作成し、全戸配布（平成24年度）。 ・平成24年度安全・安心なまちづくり推進大会にて、防災活動功労団体として、幸田町防災會議長より感謝状の授与。

平成26年度防災貢献団体表彰 表彰団体一覧(自主防災組織)

NO.	市町村	団体名 (所管県民事務所)	設立年度	推薦基準	適否	主な活動内容
1	豊橋市	飯村校区防災会連絡協議会 (東三河総局)	昭和58年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 ・5年以上継続して活動 ・自主的な防災訓練を実施し、住民参加を増やすため積極的に活動 第2条1(1)ウ【普及啓発事業の取組】 ・5年以上継続して活動 ・防災思想の普及、向上を図るなど活動を継続	・活動期間31年 ・毎年防災訓練を実施 ・活動期間31年 ・防災マップの作成、配布	・連絡協議会設立後から現在まで毎年防災訓練を実施 ・避難所生活の体験として、飯村小学校の体育館を間仕切りし、非常食の試食や寝泊りを実施(平成23年度) ・小学校児童が授業の一環で実施している「防災学習会」の活動成果を防災訓練の中に導入 ・危険箇所の見回りを実施し、防災マップの作成・配布 ・平成25年度「豊橋市防災関係表彰」受賞
2	日進市	香久山区自主防災会 (尾張県民事務所)	平成14年度	第2条1(1)ア【永年活動及び台帳の整備】 ・10年以上継続して活動 ・各種台帳を整備し、他の模範 第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 ・毎年防災訓練を実施 第2条1(1)ウ【普及啓発事業の取組】	・活動機間12年 ・要支援者台帳の整備 ・活動機間12年 ・活動機間12年 ・防災マップの作成、配布	・地域防災力の向上にむけて、地域の大型商業施設とタイアップして、入口ホールにて自主防災展を実施(平成20年、21年度) ・地域内の災害時要援護者を個別具体的に把握するため、民生委員と協力して要援護者関係者会議を開催。会議開催後、個別訪問を順次実施(平成23年) ・香久山自生灾害防災の発行、配布 ・香久山区住民が参加する最大のイベントであるウォーカラリーにて、防災器具の紹介やバネル展示などを実施(平成24年) ・地域防災教育の一環として、小学生を対象に地域防災マップ作成プロジェクト実施(平成25年度) ・日進市や自衛隊、尾三消防と協働して地域合同総合防災訓練を実施(平成25年度) ・ホームページを作成し、随時活動報告を掲示するなどして平常時から防災情報の提供に努めている
3	豊山町	豊山小学校区自主防災会 (尾張県民事務所)	平成21年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】	・活動期間5年 ・毎年防災訓練を実施	・豊山町立豊山小学校に防災備蓄倉庫を設置、防災資機材を配備(平成22年度) ・ハイゼックスによる炊き出し訓練の実施(平成24年度から) ・町の広報誌で自主防災訓練の開催についてPRをしている(平成25年度から)
4	扶桑町	花立自主防災会 (尾張県民事務所)	平成17年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】	・活動期間9年 ・毎年防災訓練を実施	・毎年、地区で防災訓練を実施しており、実施内容は避難訓練、救出訓練、初期消火訓練、炊き出し訓練など ・花立防災地図の作成(平成23年度から毎年) ・避難経路等点検調査(平成25年度) ・愛知県防災教育センターにて防災体験の実施(平成25年度)
5	知多市	つつじが丘防災会 (知多県民センター)	平成13年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 第2条1(1)ウ【普及啓発事業の取組】 第2条1(2)その他【市町村長が表彰に値すると認めた自主防災組織】	・活動期間13年 ・毎年防災訓練を実施 ・活動期間13年 ・災害時行動マニュアルの作成、配布(平成24年度) ・平成21年度から地区防災計画の作成に着手、平成26年度には、その輪郭をまとめる段階である	・災害発生時の安否確認と被害状況の早期把握を図るために、安否確認用データベースを整備(平成23年) ・毎年、市職員や教職員などを講師として招き、災害時の行動や避難所の開設・運営についてグループワーク等の研修会を実施 ・防災人材育成のため、住民自らがAEDや消火器操作訓練等を指導 ・発災前後の行動について防災会の方針を示す「つつじが丘災害時行動マニュアル」を作成し、訓練を通して逐次修正している ・避難所運営訓練の実施(平成25年度)
6	武豊町	玉貴西二区自主防災会 (知多県民センター)	昭和54年度	第2条1(1)ア【永年活動及び台帳の 防災台帳の整備】 第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 第2条1(1)ウ【普及啓発事業の取組】	・活動期間35年 ・防災台帳の整備 ・活動期間35年 ・毎年防災訓練を実施 ・活動期間35年 ・防災の考え方や啓発を隣組回覧板と訓練会場を活用して実施	・区単位の防災訓練から「常会単位・隣組単位の防災訓練・防災活動」に変更(平成24年から) ・災害時、各戸の無事状態を表示する「無事ですタオル」を全戸配布(平成24年から) ・武豊町役場と共同で、耐震診断受診PRを区内全ての昭和56年以前の家屋を対象に家庭訪問・ローラー作戦の実施(平成25年から) ・共助の基となる隣組内の親睦や声かけの推進定着に向け、全ての常会防災訓練の中に「隣組お茶飲みタイム」を設定(平成26年)
7	安城市	土器田町内会地区防災組織 (西三河県民事務所)	平成9年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】	・活動期間17年 ・毎年防災訓練を実施	・応急手当、濃煙通過、AED訓練を実施(平成24年度) ・資機材取扱訓練にて資機材の取扱方法をボルトガル語で通訳して訓練実施(平成25年度) ・訓練参加の呼びかけのための回覧をボルトガル、スペイン語表記にする ・外国人の訓練参加率は9割を超えてる

\*活動履歴から活動期間が読み取れない自主防災組織については、各市町村に確認済み(日進市、扶桑町、知多市、武豊町、安城市)

平成26年度防災貢献団体表彰 表彰団体一覧(企業等)

NO.	市町村	団体名 (所管県民事務所)	設立年度	推薦基準	適否	主な活動内容
1	豊橋市	豊橋市赤十字奉仕団 (東三河総局)	昭和62年度	第2条2(1)ウ【防災思想の普及】 広域にわたり(※1)防災思想の普及・向上を図る事業を継続しており他の模範と認められる。	・防災講習会を開催し、防災の普及啓発に努めている	・豊橋市主催の総合防災訓練に毎年参加しており、炊き出し訓練を実施(平成15年度から毎年) ・各校区防災訓練への参加 ・災害時における高齢者に対する支援の方法を伝える健康生活支援講習の実施 ・豊橋市の防災対策の推進に貢献したとして、平成25年度「豊橋市防災関係表彰」受賞
2	春日井市	白山町内会連合会 (尾張県民事務所)	平成7年度	第2条2(2)その他 市町村長が表彰に値すると認めた企業等(※2)	・連合会の防災訓練をきっかけに、町内会(3地区)が自主防災組織を新たに発足。その結果、全町内会(9地区)が自主防災組織を設置(春日井市の自主防災組織率は90.7%から91.4%)	・地域防災力の向上及び自主防災組織未発足地区への組織発足啓発を目的として、春日井市消防本部と協力した白山町内会連合会の防災訓練を実施(平成25年度) ・防災訓練では、初期消火・放水訓練のほかチビッコレスキュー隊体験といった幅広い年代が参加するような工夫をし、多数の住民が参加した(408名) ・本連合会は9地区的町内会が属す団体であり、平成26年6月に自主防災組織未発足町内会(3地区)が自主防災組織の新規発足申請、12月に発足式を執り行う・訓練がかつて未実施だった組織から訓練が申請されている
3	江南市	あいち防災リーダー会こうなん (尾張県民事務所)	平成15年度	第2条2(1)ウ【防災思想の普及】	・市内の防災訓練や防災講習会での啓発	・犬山、小牧、大口、扶桑、江南の5市町で開催した「5市町防災カレッジ」において、講師として講話を実施(平成25年度) ・市内の自主防災会防災訓練では、防災資機材を持ち込み、地域住民に防災資機材の使い方を見せながら周知 ・防災講話や応急手当講習を地域住民に行っている ・静岡県総合防災訓練への参加(平成25年度) ・扶桑町、犬山市の防災訓練に参加(平成24年度)

\*1 広域にわたらると、推薦基準第2条1に規定する自主防災組織の活動範囲である町内会・自治会等の区域を越えて市町村内にて広く活動を行っていること

\*2 審査の結果、防災貢献団体表彰基準第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】と同等の活動をしていると判断した。

**平成27年度防災貢献団体表彰 表彰団体一覧(自主防災組織)**

NO.	市町村	団体名 (所管県民センター)	設立年度	推薦基準	達否	主な活動内容
1	犬山市	丸山地区自主防災会 (尾張県民事務所)	平成12年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 ・5年以上継続して活動 ・自主的な防災訓練を実施し、住民参加を増やすため積極的に活動	・活動期間15年 ・毎年防災訓練を実施 →基準を満たしている	・10町内会合同の防災訓練を毎年実施している。 (内容:煙道・地震体験、消火器による初期消火訓練、AED取り扱い訓練や炊き出し訓練、防災講話や防災ビデオの鑑賞) ・また、防災訓練に幅広い年代の住民参加をやすすめ、児童を対象にストロークリップを使って簡単な家の模型を作り、家を強くするための勉強をすることが出来るストローハウス作りや防災紙芝居を導入している。
2	日進市	五色園区自主防災隊 (尾張県民事務所)	平成12年度	第2条1(1)ア【永年活動及び台帳の整備】 ・10年以上継続して活動 ・各種台帳を整備し、他の模範 →基準を満たしている 第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 ・毎年防災訓練を実施 →基準を満たしている 第2条1(1)ワ【普及啓発事業の取組】 ・5年以上継続して活動 ・防災思想の普及、向上を図るなど優れた活動を継続。	・活動期間15年 ・要支援者台帳の整備 →基準を満たしている ・毎年防災訓練を実施 →基準を満たしている	・防災訓練は、子ども会などと協力して毎年区内の小学校で実施しており、大人から子供までが楽しめるような内容としている。 (内容:土蔵作りや担架組み立て、パケツリレーや防災クイズラリーなど体験型の訓練) ・「体育館に泊まろう!避難所体験」と題し、災害時避難所用間仕切りを使用した宿泊体験を実施。 ・避難ルートや安全待機場所などを定めた防災マップを策定。 ・地区として「次世代を担う子どもたちへの防災伝承」を重要事項として位置付け、小学生による通学路の防災マップ作りを支援。 ・「防災広報車」、「地域内連絡用防災無線」を独自で整備。 ・平成26年度には、日進市市制功労感謝状を受賞。
3	大治町	柳原《助け合い隊》 (海部県民センター)	平成17年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】	・活動期間10年 ・毎年防災訓練を実施 →基準を満たしている	・標高が低く、集中豪雨時に床下浸水などの被害が発生する恐れがあるため、平成25、27年度に柳原地区の希望者へ土壌を配布している。 ・平成22年度に安全なまちづくり活動に尽力した功労により、愛知県知事感謝状を受賞。 ・平成26年度に水害手づくりハザードマップを作成し、各世帯へ配布。
4	常滑市	瀬木区自主防災会 (知多県民センター)	平成21年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 ・毎年防災訓練を実施 →基準を満たしている 第2条1(1)ウ【普及啓発事業の取組】 ・防災マップ、瀬木区津波被害予想地図の作成、配布 →基準を満たしている	・活動期間5年 ・毎年防災訓練を実施 →基準を満たしている ・防災マップ、瀬木区津波被害予想地図の作成、配布 →基準を満たしている	・平成25年度にハザードマップを作成し、炊き出し訓練を実施。 ・平成25年度に各町内単位で世帯主の名前入りの安否確認ボードを避難場所に整備。 ・平成26年度に地区住民とともに常滑中学校の生徒と炊き出し訓練を実施。 ・平成26年度に搬送用担架2台の作成。 ・地域住民への防災活動として住民ができるような講演会や研修会を毎年実施。 (内容:認定NPO法人レスキューストックヤード役員による講演、愛知県内で積極的に自主防災活動に取り組んでいる自主防災会の役員による講演、東日本大震災被災地での避難所体験談等) ・平成24年度に名古屋大学川崎教授へ南海トラフ地震に関する浸水想定シミュレーションを依頼し、「瀬木区津波被害予想地図」の作成及び全戸配布を行った。
5	東海市	百合ヶ丘自治会防災対策部 (知多県民センター)	平成21年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 ・毎年防災訓練を実施 →基準を満たしている 第2条1(1)ウ【普及啓発事業の取組】 ・防災情報紙「ぼうさい百合ヶ丘」を制作、配布 →基準を満たしている	・活動期間6年 ・毎年防災訓練を実施 →基準を満たしている ・防災情報紙「ぼうさい百合ヶ丘」を制作、配布 →基準を満たしている	・要支援者マップや安否確認台帳を作成。 ・幅広い年代が参加できるように地域の祭りや防災訓練に子供向け防災クイズやピングーム等を取り入れている。 ・高齢者住宅を対象に訪問する「声かけ運動」を実施。 (声かけ内容:屋内の地震対策をしてますか?消火器はありますか、操作できますか?緊急時の連作先は決まっていますか?一時避難場所は知っていますか?など) ・避難時に各家庭の前に掲げる看板「わが家は無事です」を全戸に配布。 (地震の揺れが収まって家族の無事が確認できたら玄関扉に表示する)
6	武豊町	玉貴東区自主防災会 (知多県民センター)	昭和54年度	第2条1(1)ア【永年活動及び台帳の整備】 ・防災台帳の整備 →基準を満たしている 第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 ・毎年防災訓練を実施 →基準を満たしている 第2条1(1)ウ【普及啓発事業の取組】 ・防災マップの作成、配布 ・玉貴東区HPの開設 →基準を満たしている	・活動期間36年 ・防災台帳の整備 →基準を満たしている ・毎年防災訓練を実施 →基準を満たしている ・防災マップの作成、配布 ・玉貴東区HPの開設 →基準を満たしている	・自主防災組織台帳を5年ごとに更新。 ・5年ごとに総合防災訓練を実施(平成27年7月に第3回総合防災訓練を実施予定)。 ・平成25年度に玉貴東区ホームページを開設し、防災マップや防災だよりをダウンロードできるようになり、防災訓練等の情報を周知する場として活用。 ・武豊中学校体育馆を使用した避難所開設避難訓練を3区共同で実施。 ・平成21年度から防災情報誌「防災だより」を作成し、区内の各家庭へ配布。
7	豊橋市	下地自主防災会 (東三河総局)	昭和58年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】 ・毎年防災訓練を実施 →基準を満たしている 第2条1(1)ウ【普及啓発事業の取組】 ・防災マップの作成、配布 →基準を満たしている	・活動期間32年 ・毎年防災訓練を実施 →基準を満たしている ・防災マップの作成、配布 →基準を満たしている	・古い町並みが存在する地区であるため、地区の特徴に合わせた防災訓練を実施している。 ⇒訓練内容:水防工法訓練、火災延焼防止のための初期消火訓練、水難救助訓練等 ・防災訓練では、豊橋技術科学大学の研究生を招聘し、火災延焼に関する講演会を実施。 ・平成26年度には、防災に尽力したとして豊橋市長から感謝状を受賞。
8	安城市	福釜町自主防災会 (西三河県民事務所)	平成8年度	第2条1(1)イ【防災訓練の活性化】	・活動期間19年 ・毎年防災訓練を実施 →基準を満たしている	・より多くの住民が訓練に参加できるように、組単位での防災訓練の回数を年々増やしたり、地域のお祭りに防災訓練を導入している。 ・町全体で訓練を4回、組単位での訓練を4回開催(平成25年度)。 ・町全体で訓練を4回、組単位での訓練等を9回開催(平成26年度)。
9	豊田市	豊田市自主防災会連絡協議会 (西三河県民事務所)	昭和63年度	第2条1(1)ウ【普及啓発事業の取組】	・活動期間27年 ・とよた防災フェスタ実行委員会のメンバーとして防災に関する啓蒙活動を行う場の提供に尽力 →基準を満たしている	・防災訓練を各種研修会や地域イベントと合同で実施することにより、幅広い市民が訓練に参加できるように工夫している。 ・「とよた防災フェスタ」の開催においては、実行委員会のメンバーとして運営協力に携わり、民間業者と行政団体が協力して多くの市民に対して防災に関する啓蒙活動を行つ場の提供に尽力した。 ・平成26年度には、防災活動がまちづくりに多大な貢献をしたとして豊田市長から感謝状を受賞。 ・自主防災会リーダー養成講座として、協議会内の各自主防災会会員が防災・減災カレッジや防災ゲーム(DIG、HUG)を受講。
10	一宮市	あいち防災リーダー会 いちのみや支部 (尾張県民事務所)	平成15年度	第2条2(1)ウ【防災思想の普及】 広域にわたり(※1)防災思想の普及・向上を図る事業を継続しており他の模範と認められる。	・活動期間12年 ・市内の防災訓練や防災研修会での啓発 →基準を満たしている	・一宮市内自主防災連絡協議会実施の防災訓練において啓発活動を実施。 ・市や市消防主催のイベント(リバーサイドフェスティバル2014、きて・みてたんけん消防21など)において啓発活動を実施。 ・市主催の自主防災リーダー研修会ではHUGやクロスロードのファシリテーターを担当し、サポートをしている。 ・市内小学校にて「こどもワークショップ」を実施。
11	豊橋市	豊橋防災ボランティアコーディネーターの会 (東三河総局)	平成14年度	第2条2(1)ウ【防災思想の普及】	・活動期間12年 ・市内の防災訓練やイベントでの啓発 →基準を満たしている	・平成26年度には、防災に尽力したとして豊橋市長より感謝状の受賞。 ・豊橋市が主催する灾害ボランティアコーディネーター養成講座のファシリテーターを担当し、サポートをしている。 ・豊橋市ののみならず愛知県内各地から活動要請を受け、防災ボランティアネットワークの構築に努めている。 ・市内小学校で防災学習として、炊き出し訓練や応急救護訓練を実施。 ・あいち防災フェスタでは、ボランティアブースにて啓発活動を実施。